

天気をはかる

気象庁143年をものかたる人と技術



画像提供：気象庁

天気を予報するためには、気温や雨、風の向きや強さなどの現象を“はかる”こと、すなわち「気象観測」が必要となります。気象庁では、日々の天気予報のほかに、台風や局地的集中豪雨、落雷や竜巻といった気象の変化を観測し、命を守るための防災情報を提供しています。この展示では、地上、高層、レーダー、衛星、極地といった観測の現場をパネルで紹介するほか、関連した本を展示・貸出します。観測という仕事が時代に応じて変化していく点にも注目してご覧ください。

会期：2018年7月23日(月)～10月27日(土)

会場：千代田図書館9階 展示ウォール

主催：千代田区立千代田図書館 共催：気象庁

展示関連イベントを開催

※詳細は裏面をご覧ください

会場案内

千代田区立 千代田図書館

東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所本庁舎内
電話 03-5211-4289・4290

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線
「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分

開館時間 月～金＝10:00～22:00
土＝10:00～19:00
日・祝＝10:00～17:00
※7月21日～8月31日は9:00開館

展示期間中の休館日 8月26日(日)、9月23日(日)



Antarctic



極寒の地、南極での気象観測の意義と成果。そして、日本の観測を通じて発見されたオゾンホール の仕組みについて、現場経験者がリアルに語る90分。

南極における気象観測の変遷

講師

気象庁 観測部計画課
南極観測事務室 室長

荻原 裕之 氏

日時：9月7日(金) 18:30~20:00

会場：千代田図書館 9階 特設イベントスペース

定員：40名(事前申込制・先着順・参加無料)

受付開始：2018年8月6日(月) 10:00~

※手話通訳をご希望の方は、8月31日(金)までにお電話でお申し込みください。

【講師略歴】昭和54年、東京管区気象台測器課に採用後、南極観測を夢見て、富士山測候所、八丈島測候所を経て第28次南極地域観測隊に参加し、昭和62年2月から1年間、昭和基地で越冬観測。帰国後、高層気象観測や海洋観測等、現場の観測を経て、現在に至る。

申し込み方法

- ①電話でのお申し込み
千代田図書館 03-5211-4289・4290
- ②来館されてのお申し込み
千代田図書館10階カウンター
(①②は平日10:00~18:00)
- ③千代田区立図書館ホームページからのお申し込み
※お申し込みフォームは受付期間のみ表示されます。
※お一人ずつお申し込みください。

千代田図書館で学ぼう!!

小学 4・5・6 年生向け

夏のわくわく 課外授業 2018

理科 7月26日(木) 14:00~15:30

地球温暖化と海

~海を測るフロートの仕組み~

わたしたちの毎日にかかせない「天気予報」をつくる気象庁のおしごとを知っていますか？
地球の環境に深くかかわる海を観測する「フロート」について、
工作しながら学びます。

講師：気象庁東京管区気象台 地球温暖化情報官 井上博敬さん

場所：千代田図書館9階 第1・2研修室

定員：小学4・5・6年生の児童10名とその保護者

持ち物：筆記用具、ペットボトルの空き容器(500ml)

申し込み方法

(事前申込制・先着順・参加無料)

★千代田区在住・在学者先行受付
6月28日(木)・29日(金)
10:00~18:00

★一般受付(平日10:00~18:00)
7月2日(月) 10:00~

- ①電話でのお申し込み
03-5211-4289・4290
- ②来館されてのお申し込み
千代田図書館10階カウンター

※先行受付で定員に達した場合は、一般受付での募集は行いません。

※手話通訳をご希望の方は、7月18日(水)までにお電話でお申し込みください。

